

一級建築士 学科本科生「合格への道」

2023 年 TAC建築士講座

1. 講義をすべて聴いて、本試験日までに問題集（過去 10 年分※）の 9 割を正解できるようにすれば、合格できる！

※過去 10 年分以前でも「計画」の実例や、図を使った問題、構造力学など、重要な問題は厳選して掲載しています。



2. 結局どれだけ真剣に「今年絶対に合格する！」と覚悟を決めたか、で決まる。

- ・真剣に考えれば、問題集で一度間違えたら二度と間違えないように、まとめノートを作るとか、法令集の線引きの工夫をするとか、自ずから行動が変わる。
- ・設計・工事監理は建築士の独占業務ですから、建築士でなければ、あなたは「タダのアシスタント」です。やっている業務は「設計」ではなく「設計補助」です。

3. 合格できるかどうかは、あなた次第！

- ・コンテンツは最良なものを提供します。勉強するかどうかは、あなた次第。
- ・自宅等でしっかり問題集を解かないと合格はできません。

4. 科目ごとの基準点・目標点

★ポイントは、「法規と構造で最低 45 点・目標 50 点を取る」こと！

科目	出題数	科目基準点	合格最低条件		目標	
			得点	得点率	得点	得点率
計画	20	11	14	70%	16	80%
環境	20	11	14	70%	16	80%
法規	30	16	24	80%	26	87%
構造	30	16	21	70%	24	80%
施工	25	13	17	68%	18	72%
合計	125	67	90	72%	100	80%

1、2年前はほとんど出ない

1、2年前も出る

暗記系科目
新規問題多い

ただし、
合否の差
が付くのは
過去問です。

※近年の合格基準点の補正

(R1_97点) (R2_88点_環境10点) (R3_87点_計画10点) (R4_91点)

5. 講義への100%出席

- ・学習のスタートは講義から。予習は不要。講義範囲の「1問1答過去問分析問題集（1問1答問題集）」と「新体系問題集（4肢択一問題集）」の実施を徹底！
- ・欠席した場合はWeb講義を視聴する。原則、翌水曜日0時から視聴可能。**講義録、確認テストもダウンロード可能。**なお、教育訓練給付制度上、Web講義の視聴は、出席扱いにはなりません。
- ・1日（講義2回分）の講義料はいくら？
学科本科生 407,000円／29週＝14,034円／週
- ・教室講座では、5分前着席の厳守。
- ・教室講座では、中間テスト、公開模試等は、極力教室で受けること。「自信がない」「まだその段階に達していない」等を理由に欠席している場合ではない。

6. 問題集の9割を正解できるようにするために

- ①「1問1答過去問分析問題集（1問1答）」を2回解く。

出題内容の確認、理解、暗記。

- ②「新体系問題集（4肢択一）」を2回解く。

解答肢を選び出す訓練。

回数	目的	時期等	土曜クラス	日曜クラス
1問1答 1回目	出題内容の確認。 解ける、解けない、の選別。	・講義後できるだけ早く！ ・✓■などを付ける。 ・全設問をテキストで確認する必要なし。 ・テキストを見れば理解が深まる内容ならば確認し、分かりそうもなければ「？」マークを残して次の問題へ進む。	日曜	日曜夜 ・平日
1問1答 2回目	解けない問題を解けるようになるための繰り返し	・解けなかった問題に集中して解けるようにする。 ・分からないところ、分からない用語はしっかり調べる。ネットも活用する。	平日	平日
4肢択一 1回目	解答肢を選び出す訓練	・4肢択一問題集の巻末の「問題集実施表」で毎週の範囲を確認する。 ・設問肢ごとに（✓□☑☒）等を付ける。 ・計算問題は、手を動かして計算する。 ・次回の講義日までに「必ず」やる！	平日	平日 ・土曜
4肢択一 2回目	解けない問題を解けるようになるための繰り返し	・解けない問題を解けるまで繰り返す。 ・知識を整理するための「まとめノート」を作る。 ・「他科目の日」を作って、6月からの直前演習ゼミまでに2回目を終わらせる！	他科目の日	他科目の日

- ・6月中旬に本講義が終わったら、その後は本試験まで「思い出すための期間」になります。そこに直前演習で行う総まとめの講義が加われば、「鬼に金棒」です。

4肢択一問題集のチェックの例

- ✓1. → 1回目で理解した。
- ✓□2. → 1回目で理解できず、2回目で理解できた。
- 3. → 2回目でも理解できない。
- ✓4. → 理解したはずが、理解できていなかった。

7. 6月からの直前演習までに、テキストを1回は通して読む。

- ・問題集で学習した内容が「点」だとすると、
点が線に、線が面になり、体系、全体像が分かる。
- ・時期的には科目の講義が終わったときが良い。
- ・テキストの内容を100%覚えようとする必要はない。不明な点には「？」を付ける。

8. 知識を整理するための「まとめノート」を作る。

- ・作るタイミングは、4肢択一問題集を2回解いた頃が有効。
- ・「覚えられないもの」「なんか逆な気がするもの」などの項目でまとめるのも有効。
- ・後で自分が何を書いたのか分からなくなった時のために、テキスト页数や問題集の出題年度・番号・肢などをメモしておくが良い。(テp121、H30182、確2-13など)

	木	柱 150 以下 (構造耐力上主要な部分)
細長比 λ	鋼 梁(柱以外) 250 以下	柱 200 以下
円筒変形角	$\frac{1}{200}$ ($C=0.2$ 計算)	$\frac{1}{120}$ (構造耐力上主要な部分の 変形による建築物に著しい 損傷を生じるおそれがある場合)
たわみ	$\frac{1}{250}$	ALC スリット構造 カーブプレート工法

スライフトリプル：ベースプレートとコンクリートの間に生じるスリットと「アコースティック断熱材」の厚さ	0
非常用進入口間隔	40mm以下
地下1階歩行距離	30m以下
非常用EV充電速度	60kW/10分
光源断熱材 (2次元)	自然断熱材 LED・蛍光灯等14W
自然断熱材 色温度 全光色	2850K 6500K
Hf蛍光灯ランプ電圧	100V/1W

9. 法令集について

- ① 法令集のインデックスシール貼りと線引きは、法規の開講（新宿校 3/26）の前に**必ず終えること**。線引きをしないと、法規の講義についていけません。
- ② 線引き集（線引き見本）URL
<https://bookstore.tac-school.co.jp/kenchiku2023/>
（↓線引きのコンセプト・推奨ペンなど）
<https://bookstore.tac-school.co.jp/kenchiku2023/pdf/concept.pdf>
- ③ 全部終わるのに 20 時間程度はかかります。計画的に進めること。
- ④ 令和 5 年向けの法改正は軽微です。昨年の 2022 年版を使い、改正点は覚えるという方法も有効です。

10. 建築士試験の特徴は、暗記事項が多い！

- ・他の資格試験と比べて決して内容は難しくない。ただし、暗記事項が多い。

暗記のコツ

- ① 理屈で納得する。分かるまで調べる。
- ② 分類・比較・関連付けする。
- ③ ビジュアル化する。
- ④ 語呂合わせで覚える。
- ⑤ テキストや解説を見たあとに、すぐにいったん目を閉じて頭の中で繰り返す。
- ⑥ 手を動かして書いて覚える。
- ⑦ 定期的に反復練習する。
- ⑧ 問題集を 3 回解いた頃に、設問肢ごとに覚えていないものにフセンを付け、覚えたら外す。
- ⑨ まとめノート等を使って、思い出せるようにして忘れる。

11. 問題集を丸暗記しようとしないこと。理解すること。

- ・丸暗記で 7 回も 8 回もやってもダメ！
- ・問題の○×を考えるだけでなく、解説を熟読すること。
- ・○×が分かるだけではダメ！ どこが間違いで、どのように直したら正しくなるかを人に説明できる程度まで理解すること。

12. 出来ない問題を出来るようにすることをいつも意識する

- (1) 肢ごとに理解度を明確にして、出来ない問題を絞り込んでいく学習をする。
- (2) 解説を読み、テキストで調べても**意味がわからないときは**、
→ ① ネットで調べる
② フセンを立てたり、「？」マークを付けておく。長い間立ち止まらない。
③ 講師に質問する！
- (3) **数値が覚えられないとき、何かと混乱しているときは**、
→ 表にして整理する。語呂合わせで覚える。まとめノートを作る。

→ 直前期に覚えるべきものを早い段階から整理する。

「思い出せるようにして忘れる」

→ あいまいなもの、モヤモヤしたものを正確に覚えるために自分で整理をする努力を決して惜しまないこと。教材を眺めているだけでは効果が出にくい。

→ 整理しないと、ずっとあいまい、モヤモヤなまま。

→ 合否を分ける問題は、「正確に覚えるのが難しい過去問」

→ **TAC建築士講師室ブログ**

「井澤式 建築士試験 比較暗記法・実例暗記法」の活用

<http://kentikushi-blog.tac-school.co.jp/>

「合否を分ける問題の宝の山！」

(4) 確認テストや各種テストで間違えた問題の復習は、出来ない問題を出来るようにするために効率的。特に確認テストは各回 50 肢程度を厳選しているので B5 ファイルに整理して折に触れて復習すると効果的。重点的に見直すべき問題にチェックしておくこと。テストを実施し、復習した後、1 か月後にもう一度解きなおすと効果的。Web School の講義録から綺麗な問題をダウンロードすることができます。

13. 二級建築士試験との違い

- ・二級建築士試験は「丸暗記」でも合格できるが、一級は「理解」が必要。
- ・二級建築士試験は「電車学習」でも合格できるが、一級は「自宅学習」が必要。
- ・二級建築士試験と同じ学習量で合格できるとは思わないこと！

14. 合格したいのならば、勉強時間を確保すること

- ・勉強する習慣を付けられるかが勝負！
- ・勉強し始めれば、やる気は出てくる！やる気が出る前に、とにかく勉強し始める！
- ・10 分あれば何かできる！
- ・講義後の自習室の活用。
- ・講義中の疑問点は講義後に解決する。解決しなければ質問する。家に持ち帰らない。
- ・家では怠けてしまうのであれば、**講義後教室に残ってやる**。TAC 自習室でやる。会社でやる。ファミレスでやる。覚悟を決めて！
- ・電車の中も有効活用。いすに座ると眠くなるなら、座らない！
- ・勉強時間が確保できないなら、昼休みも勉強する！
- ・お酒を飲むと眠くなるから、我慢するとか。
- ・眠くなったら立って声に出しながら勉強するとか。ガムを噛むとか。
- ・困難を克服して「武勇伝」を作る！ 合格体験記を作る！
- ・試験勉強をきっかけに生活習慣や性格等を改善できたりしたら、本当に有意義なのではないかと思います。

15. 勉強できない言い訳をしない

16. 仲間を作ろう！ ともに戦う戦友を作ろう！

17. 資料の整理

- ・講義録、確認テスト等をB5ファイルに整理する。厚さ3～4cmになります。

18. 教材の配付

- ・全5科目のテキスト・4肢択一問題集を配付可能。
- ・環境の1問1答問題集を配付可能。
- ・施工、計画、法規、構造の1問1答問題集は、各科目第1回講義の1週間前に配付。

19. モバイル問題集「快速スタディ」

- ・詳細は、マイページ左下の「講座からのお知らせ」「▶一覧を見る」を参照。
- ・施工以外はUP済。
- ・施工は1/20頃UP予定。
- ・「施工1級 年度別 PRE」は、2022年度版（H24～R3の過去問題集）です。
- ・「検索」（用語検索）が便利です。

20. 受験経験者の方への学習上のアドバイス

- ・受験経験者の方が講義前に苦手科目の学習を進めておくことは当然有効です。
- ・なお、初受験の方は、予習は一切不要です。復習に徹してください。

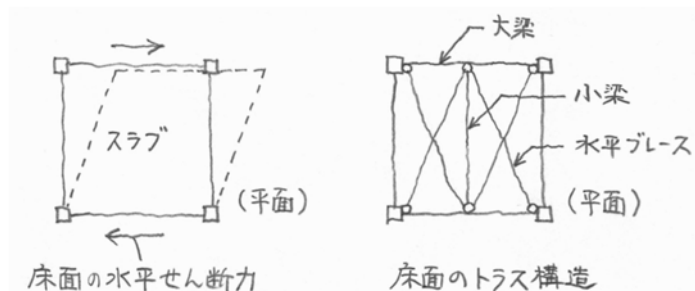
① 計画の実例建築物の出題について

- ・令和3年に実例建築物について手も足も出ない新規問題が数多く出題されましたが、それは特殊です。間違っても過去問を軽視してはいけません。
- ・新規問題対策は、講義と教材の中で行う対策に絞っていきましょう。
- ・初めて見る建築物名であっても、「記述内容は他の建築物の特徴ではないか？」と応用を効かせることも大事です。

② 構造の文章問題について

- ・問題集を実施する際に、設問の内容をきちんとイメージできているか、**簡単なイラスト**を描けるか、を常に意識して解く。
- ・具体的には次の問題について、図のように簡単なイラストを描けるか、です。

問題 「鉄骨構造において、床面の水平せん断力を伝達するために、小梁と水平ブレースによりトラス構造を形成する場合、小梁は軸方向力も受ける部材として検討する必要がある。」（令和元年 No. 15 肢 1）（正）



③ 施工について

- ・施工の得点アップのためには、「施工方法がイメージできること」「数値等を暗記すること」が大事です。受験経験者の方が講義前に学習を進める際には、設問の中でイメージできない用語にマーカーをして徹底的に調べ上げてください。今まで使っていたテキスト、問題集のほか、ネットで調べるのも有効です。

21. 講義受講中の注意点

- ・ひたすらマーカー、アンダーラインを引き、メモを取る。
- ・講義中の疑問点には？マークやフセンを立て、復習や質問がしやすいようにする。また、疑問点が解決した後すぐに？マークを消さずに「~~？~~」のように履歴を残す。一度疑問に思ったものは再び疑問に思うもの。これも復習しやすさの一つの工夫。
- ・講義中の疑問点を、講義が進んでいるのにずっと考え込んでいてはダメ！ 「？」マークを付けて確認は後にして講義に集中すること。
- ・講義中のチョコ等の糖分補給、飲み物は自由です。

22. 問題集を毎回持参

- ・毎回の講義にテキスト（法規では問題集も）はもちろん「**1問1答問題集**」「**4肢択一問題集**」の両方を持参すること。

以上